

# 外郭団体ミッション遂行評価票

# 【令和元年度取組結果】

団体名	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
-----	------------------

所管課	保健福祉局 総務課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>他の民間事業者では取組みが困難な福祉サービスの充実に積極的に携わること。</p> <p>また、事業団が持つ多様な専門性を活かし、民間の社会福祉法人等の先導的役割を担いつつ、より質の高いサービスを提供すること。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>平成22年度までに抜本的な見直しを行い、経営健全化を達成しているが、引き続き、健全な経営の維持に努める。</p>

## ミッションに基づく中期計画

3~5年後に 目指す状態	(1)再整備後の総合療育センターの機能を活かし、障害児・者支援の中心的な役割を担う。 (2)団立保育所、児童館、障害児支援施設の専門性を活かし、子育て支援の先導的役割を担う。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
総合療育センターの利用者満足度	84.5%	81.4%	94.3%	96.4%	90%以上	96.8%	90%以上	90%以上
介護実習・普及センターの利用者満足度	99%	87%	99%	99.0%	80%以上	99.0%	80%以上	80%以上
児童館の利用者数	647,406 人	658,676 人	627,127 人	637,106 人	612,000 人以上	561,263 人	612,000 人以上	612,000 人以上
国保特定健診受診者のうち特定保健指導非対象で保健指導が必要な者（区役所対応分）に対する指導割合	48.0%	48.2%	49.4%	59.8%	40%以上	58.5%	40%以上	40%以上

## ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価	市の評価
<p>専門的ノウハウを活かしたサービス提供のなか、新総合療育センターの機能充実等により同センターや介護実習普及センターの利用者満足度、保健指導が必要な者に対する区役所対応分指導役割については目標を達成しており、市の福祉の向上に貢献できた。</p> <p>一方、全市的な新型コロナウイルス感染症対策により、児童館を始め、通所・訪問系事業が利用者減となった。しかし、その中でも、利用者の感染防止に努め、入所施設等の運営を継続的に実施できた。また、総合療育センターに関して、経営コンサルタントを導入し経営改善を進めている。</p>	<p>総合療育センター及び介護実習・普及センターの利用者満足度は、目標値を上回っており、これまで蓄積してきた専門技術やノウハウを生かして、子どもから高齢者まで多世代にわたる相談・支援に努めており、質の高いサービス提供の継続的な実施にも努めているものと評価する。</p> <p>また、継続的な人材育成や人材確保、経営コンサルタントの活用など、経営面における改善にも取り組んでいる。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	団体への改善指導内容（案）
<p>①総合療育センターの経営の在り方 病床稼働率が目標に達していないため、病床の増設等に伴う看護師等の人員費の増加が収支を圧迫している。 引き続き、課題の整理や情報の共有を推進し、継続的な経営改善に取り組みたい。</p> <p>②保育士をはじめとした人材確保 保育士等の人材確保が難航し、利用定員までの受入が困難な状況が続いている。 今後も、学校訪問・就職説明会への参加、就職サイトへの掲載などで応募者増を図るとともに、経営状況を見ながら、正規・嘱託の比率の見直し等採用枠の弾力的運用、また、地域の利用者ニーズに応じた定員の見直しについて市との協議を進めたい。</p>	<p>引き続き、社会状況の変化に伴う社会福祉法人改革などに的確に対応するとともに、不祥事防止、固有職員の確保・育成に努めるように指導を行う。</p> <p>また、総合療育センターについては、外来・入院患者数及び利用園児数が目標値を下回っているため、施設機能を最大限に発揮し、収支改善につながる経営の在り方の検討及び管理運営体制の整備を今後も行っていく。</p>

## その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>長期的な健全経営を維持できるよう、事業団の経営計画に基づき、本部機能強化等に向けた人材育成や社会福祉法人制度改革、改正労働法及び軽減税率制度等法改正に的確に対応するとともに、リスクマネジメントの強化として、全職場での定期的なコンプライアンス研修の実施を推進した。</p>	